

第2章 人口動態統計

人口

管内の人口は 124,926 人で、平成 30 年と比べ 1,173 人減少した。自然増減数は▲1,010 人であり、過去 18 年減少が続いている。

出生

出生数は、749 人で平成 30 年と比べ 72 人減少した。管内の出生率(人口千対)は 6.0 で全国(6.9)、県(6.4)と比較して低い。

低体重児出生数(2,500g 未満)は 72 人、出生率(出生百対)は 9.6 で、全国(9.4)、県(9.8)と同程度である。

死亡

死亡数は、1,759 人で平成 30 年に比べ 7 名減少した。管内の死亡率(人口千対)は 14.1 となっており、全国(11.2)、県(12.1)と比較して高い。

死因別順位では、第 1 位が悪性新生物(人口 10 万対死亡率 298.4)で第 2 位が心疾患(167.9)、第 3 位が老衰(98.6)となっている。

乳児死亡

乳児死亡率は 3.8 であった。全国(1.9)や県(2.2)と比較して高い。

死産

死産数は 10 人、死産率(出産千対)は 12.5 であった。全国(22.0)、県(18.7)と比較すると低い。

婚姻

婚姻件数は 473 組で婚姻率(人口千対)は 3.8 であった。婚姻率は、全国(4.8)、県(4.1)と比較すると低い。

離婚

離婚件数は 190 組で離婚率(人口千対)は 1.51 であった。離婚率は、全国(1.64)と比較すると低く、県(1.50)と比較すると同程度であった。